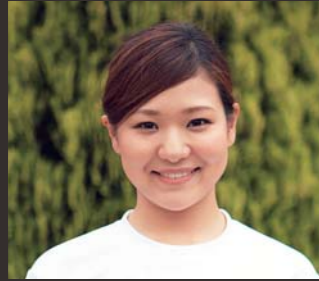


## 新旧アスリートたちからのメッセージ

オリンピック出場選手は、オリンピックデー・フェスタ、向井さんはラグビー  
クリニックの際にインタビューの協力をいただきました（関連記事9ページ）



吉田知那美さん

**Yoshida Chinami**  
カーリング  
'14 ソチ五輪 5位入賞

勝つためには、負けないと分からないことがあります。負けるときに、なぜ勝てなかったのか、どうすれば勝てるのかが分かります。

負けの原因が分かったなら、いつまでも後ろを振り返っていないで。時間だけが過ぎて、大切な青春時代はあっという間に逃げていきますよ。次の目標に向かって前進です。



三宮恵利子さん

**Sanmiya Eriko**  
スピードスケート  
'98 長野五輪 8位入賞

頑張ることは本当に大変なことです。大変だからこそ、一人ではなく仲間と共に力を合わせて頑張ってください。

つらくなったり、立ち止まったり、振り返って休んでいいですよ。ちゃんと休んだら、みんなでまた頑張ってください。最後まで諦めないで。夢は必ずかなうから。



向井昭吾さん

**Mukai Syogo**  
ラグビー  
'87 第1回W杯出場

スポーツは全員が勝てません。勝つ人がいれば、必ず負ける人がいます。負けのほうが多いものです。

負けてもみんなには仲間がいます。時には励まし、励まされたり、怒ったり、怒られたり。本気で向き合ったからこそ、自分が苦しいときに助けてもらえるのです。今しかできないことを仲間と頑張ってください。



松村亜矢子さん

**Matsumura Ayako**  
シンクロナイズドスイミング  
'04 北京五輪 5位入賞

自分の夢や目標をつかむためには、目の前にある課題を一つ一つ超えていくことが大切です。小さなことの積み重ねが、自分の夢や目標につながります。

県や全国大会に出場する皆さん、夢や目標をかなえられるよう頑張ってください。引退した皆さん、新しい夢や目標に向けてまた一つ一つ頑張ってください。



中村真衣さん

**Nakamura Mai**  
競泳背泳ぎ  
'00 シドニー五輪銀メダル

何かをするときに大事なのは「できるか、できないか」で考えるのではなく、「やるか、やらないか」です。「これは難しいからできない」と諦めるのではなく、まず「やりはじめること」。

自分のやりたいことをとことん頑張ってください。夢や目標に向けて前進できますから。



大山加奈さん

**Oyama Kana**  
バレーボール  
'04 アテネ五輪 5位入賞

優勝という結果を残せるのはたった1組だけ。結果は当然ですが、優勝や目標に向けて努力することのほうが大事です。

本気の努力は絶対自分を裏切らないし、必ずこれからの人生に役立ちます。努力することを諦めないでください。本気で努力している人はかっこよくて、誰よりも輝けるのだから。

### 専門家に聞く



登米市中学校  
体育連盟会長  
吉野 幸信さん

Yoshino Yukinobu

県や全国大会に出場する皆さん、これまでの努力が実を結びましたね。本番で全ての力を出し切れるよう、良い準備をしてください。

登米市の小中学校が県や全国で活躍できるのは、地域指導者の皆さんの力があるからこそ。技術力だけではなく、生徒が地域の皆さんと付き合い、礼儀作法や感謝の気持ちを持つことなど、人間としても大きく成長しています。地域と一体となった取り組みは、ほかのまちに誇れるものですね。

負けや試合に出れず引退した皆さん、今は悔しいと思いますが、しかし、その悔しさが新しい目標のばねになります。本気の努力は必ず次に繋がります。勝った人も負けた人も、次のステージで頂点を目指してください。



Ryuki Satou

佐藤琉輝君 中津山小 6年

三足のわらじを履くマルチプレイヤー  
目指すは全国大会での自己ベスト更新

158センチ、56キロのがっちりとした筋肉質な体格は、大人のそれと比べても遜色ない。佐藤君に走り高跳びを指導する千葉先生も「小学生の体つきではない」と舌を巻く。筋トレなどはせず、大好きなミニバスケットボールで週3日、相撲で週2日汗を流している。ミニバスケットボールではチームの中心選手として活躍。相撲では今年、念願であったわんぱく相撲全国大会への出場を決めた。突出した身体能力を武器に、各種目で高い能力を発揮している。陸上の種目は自分で選ん

だ。軽い気持ちで始めたがあっという間に県の優勝候補に。しかし、1メートル40センチの壁は厚く、本番まで一度しかクリアできなかった。市大会当日「調子が良くて跳べそう」と感じたところ、自己ベストの1メートル41センチ。県大会では、跳躍を重ねることに調子は向上した。1メートル34センチで優勝を決めると自己記録に挑戦。見事に1メートル42センチをクリアした。

自己ベストを出したときに楽しさを感じるという佐藤君。全国での目標は1メートル45センチ。大舞台で今年3度目の楽しさを感じるはずだ。

## Track and Field 小学生陸上

### 県、全国大会へ出場する2組を紹介

#### 中総体 Junior high school sport competition

なでしこジャパンにも負けない固い絆  
部員一同が見つめるのは全国での勝利



NAKADA Girls Kendo Club  
中田中女子剣道部

左から小諸晴菜さん、小野寺菜月さん、千葉寧音さん(それぞれ2年)、岩城美希さん(3年)、阿部佳乃さん、佐々木華音さん、森田海月さん(それぞれ2年)

昨年、1年生が主体のチームで県新人大会を制覇。経験のなさはチームワークで補った。県チャンピオンとなった今年、立場は一転。追われる立場となった。しかし、絶対に負けられないという強い気持ちで市大会に臨み、危なげない戦いで優勝。「部員一同、負けられないという気持ちもありました。目標は全国大会での勝利なので。でも、精神的に追い詰められたり、焦ったりはしていませんでした」と岩城主将。その自信は、絶対的な練習量が裏打ちする。休みは月曜だけ。土日祝日

は、公式戦や練習試合で埋まっている。岩城主将は「倒れるほどつらい練習もありますが、それを乗り越えないと県大会で優勝できませんから」ときっぱり。

絶対的なエースはいない。誰かが一本を取れば、それをつなぐ全員剣道で勝つ。「試合場に入るの一人だけじゃなく、常に仲間と一緒に。部員全員で戦うのが中田中の剣道です」。これまでの練習と仲間を信じ、サッカーなでしこジャパンにも劣らない固い絆を武器に、県大会で大輪の花を咲かせようとしている。